

グリーンアルファ

令和7年7月1日発行

第141号

トラスト保全第4号地（飯能市）



トラスト保全地でボランティア活動を楽しむ

里山として人々の生活と深く関わっていた雑木林は、放置していると数年で灌木や下草が伸びてきます。雑木林が荒れると林内に光が届かず多くの野草や落葉樹も姿を消して行きます。私たちボランティアは雑木林など残された県内の貴重な緑を次世代に少しでも引き継ぎたいと活動を行っています。

保全地の作業は草刈りやごみ拾い、間伐や外来種の除去、散策路の修繕等で、数年前からはナラ枯れによる枯木の伐採作業なども加わりました。それらは単純で退屈な重労働で、チェーンソーの作業は時に危険を伴います。

このような状況ですが、良いこと・楽しいこともあります。雑木林で草刈りをしていると、見慣れない芽や花に偶然出会うことがあります。以前そこにあった埋土種子が発芽したり、動物や風などで運ばれた種子が新たに芽生えた植物です。中には外来種と言われる困りものもありますが、これらの草花に出会うことは作業を続ける中で良かったと思う瞬間です。

また、多くの雑木林は里山として人々の生活と深く関わっており、当然そこには自然の恵みもあります。雑木林を保全管理する上で、私達はこれらの恵みも大

切に活用しています。一般向けに開催する自然観察会や探鳥会などのイベント、保全活動に併せて行う筍やキノコ、お茶の収穫などです。ボランティア仲間との出会いも楽しみの一つです。ボランティアは皆それぞれ違ったバックグラウンドを持った人たちの集まりです。それぞれが得意なことや出来ることを活動に活かしています。

トラスト保全第2号地では、2年前から牧野副理事長のお力もお借りして月2回の植物調査を行っています。昨年中に春夏編と秋冬編の花マップを作成し、今年の秋には集大成として植物ハンドブックの作成を目指しています。その過程でも、得意なこと、趣味を通じて養ってきたことを出し合って写真撮影、イラストや地図の作成をしています。その他、文章の作成や全体の取り纏めなど、大変な作業ですが楽しみながら取り組んでいます。

最後に、このような機会を提供してくれた緑のトラスト運動とそれを支える方々に感謝し、今後も出来るだけ長く、多くの仲間との時間を過ごしたいと願っています。

(公財) さいたま緑のトラスト協会
緑のトラスト保全第2号地
ボランティアスタッフ代表 吉川 破

イベントのお知らせ

トラスト
2号地

秋の自然観察会

10月4日(土) 9時30分～14時30分**集合場所 西武狭山線西武球場前駅改札口****協会員 無料 一般 400円 [30人申込順 締切9月30日㈫]**

▶【コース】西武球場前駅～たんぱのある里（柳瀬川上流）～「緑のトラスト」保全第2号地～狹山湖（昼食予定）～山口観音～西武球場前駅（解散）



▶【特記事項】弁当持参

トランポ
11号地

トンボ観察会

10月4日(土) 9時30分～12時**集合場所 蓼田市新井第一自治会館（蓼田市大字黒浜1041）****協会員 無料 一般 400円 [30人申込順 締切9月30日㈫]**

▶黒浜沼とその周辺は、9科33種のトンボが確認できるトンボの宝庫です。小さなアジアイトトンボから大型のウチワヤンマまで様々なトンボを観察することができます。沼周辺を散策しながらトンボを探してみませんか。散策の後は、採取したトンボや、水辺の環境についてのお話があります。子どもから大人まで楽しめる観察会なので、是非ご参加ください。

【対象】対象年齢小学生以上。小学生は保護者が同伴してください。

【持ち物・服装】筆記用具、飲み物、活動しやすい服装（長袖、長ズボン）、靴でご参加ください。尚、トラスト2号地の秋の自然観察会は、双眼鏡や図鑑等の観察用具があればご用意ください。

【申込】トラスト協会事務局までWeb又はお電話にてお申し込みください。

申し込みはこちら➡

各イベント等の詳しい説明は、ホームページをご覧ください。



令和7年度

緑のボランティアセミナー 参加者募集

緑のトラスト運動に必要な知識や技能を得るために研修を行います。これからボランティアスタッフとして活動してみたい方はもちろん、既に活動中の方のご参加もお待ちしています。

研修の特色

◆県内のトラスト保全地をフィールドにした実習

座学のみでなく、フィールド実習の機会を多く取り入れた研修内容で、より実践的な学びにつながります。

◆保全活動経験が豊富な講師陣

現場の第一線で活躍している講師陣が研修を担当。研究者による講義もあります。

◆野外活動の基礎力

野外活動におけるリスクを洗い出し、その対策をシミュレートし、リスク対応を学びます。また、日常生活から災害時などにも役立つ応急手当などを習得します。



募集要領

対象：18歳以上

研修修了後にボランティアスタッフとして協会の活動に参加できる方

日程：9月13日(土)～11月8日(土)の期間のうち5日間

修了認定基準：原則として必修科目を含め、全課程を受講すること

定員：30人(申込順)

受講料：一般 7,500円(会費1年分、保険料を含む)/協会員 6,000円

申込：電話または協会ホームページ(<http://saitama-greenerytrust.com>)から申し込み

締切：8月29日(金)



※第5回目の研修(講義・講話)は、会員及び会員関係者の方ならどなたでも参加いただけます。

自然体験活動指導者(NEALリーダー)の資格を取得できます



体験の機会と場をつくる
魅力的な感動のあるプログラムをつくる
楽しく安全に活動を指導する
それが、自然体験活動指導者です

全国体験活動指導者認定委員会では、自然体験活動に関する指導者の養成を行っています。養成された指導者は「自然体験活動指導者(NEAL:ニール)」として当委員会から資格認定されます。

※NEALリーダー登録希望者は、登録費として別途5,000円(学年3,000円)が必要です。

※NEALリーダーは永年登録です。
(更新はありません)

詳しくは、全国体験活動指導者認定委員会「全国体験活動部会のホームページをご覗ください」。

<http://neal.gr.jp>



未来に残したい自然



カシムリカイツブリ



ノウルシ



ホソミオツネントンボ

11号地は、蓮田市の郊外、JR宇都宮線蓮田駅から東へ2.5km程にある黒浜沼（上沼）を取り囲むように水田とヨシが生い茂る温原です。ここには絶滅危惧種も含む湿生植物、渡り鳥などの野鳥、トンボや自生するヘイケボタル等の昆虫が生息し、湿地ならではの生物多様性が形成されています。そして屋敷林、黒浜沼が一体となり美しい風景が安らぎを感じさせてくれます。

黒浜沼は、かつて天然の大きな沼でした。江戸時代初期、沼を横断する堤が作られ上沼と下沼に分けられました。明治期に入ると周辺の開発は進み、昭和40年ほど前、黒浜沼を含む周辺の温原が荒れていくことを見かねた市民により、重要な黒浜沼周辺の自然を守るために活動が始まりました。その後保全活動を継続的に行うため、2009年緑のトラスト保全地の指定を受け現在に至ります。

しかししながら、水田の耕作放棄は続き、湿地に流入する水量も減少し乾燥化は進んでいます。植生等の変化も見られ、湿地保全の上で大きな課題となっています。

この重要な自然を未来に残すと、子供達への学習支援やトンボ観察会、野鳥観察会等の活動を続けています。

11号地ボランティアスタッフ
山本 耕治

トラスト 昆虫

22

アミメカゲロウ目ウスバカゲロウ科

ウスバカゲロウ (*Hagenomyia micans*)



塘 久夫

5号地ボランティアスタッフ。小さい時から昆虫大好きで野山を駆け回っていました。今は小さい子供たちと一緒にトラスト地で昆虫を追いかけています。

皆さん、「アリジゴク」って聞いたことがありますか?蟻にとっての地獄ですからきっと怖い場所ですよね。よくお寺や神社の境内などで社や祠の下の乾いた地面にすり鉢状の穴が開いていますがこの穴がアリジゴク。穴の斜面の土は崩れやすく、誤ってアリや小さな昆虫がすり鉢の中に落ちてしまうとズルズルと滑り落ち、何とか這い上がろうとしても穴の底から土が投げつけられて虫は脱出できず、ついに穴の底に落ちてしまいます。すると中から地獄の主が出てきて小さな虫に毒のある消化液を注入し、捉えた虫の体液を吸って栄養にします。この蟻地獄の主がウスバカゲロウの幼虫です。幼虫はこの穴の中に1年~3年も住み続け、少しずつ成長してトンボに似た姿の成虫になります。夏に林の中やその周辺でよく見かけますが活動するのは主に夕方から夜。しかし飛び方はへたくそでユラユラと飛びます。

“ウスバカゲロウは数日の命で、何も食べずに死んでしまうはかない虫”、と誤解している人も多いようですが、これはよく似た名前のカゲロウ目のカゲロウのこと。ウスバカゲロウはカゲロウとは全く違う虫で、羽化して数週間~2ヶ月近く生きています。

雑木林の多いトラスト保全地などでは作業小屋の物置の軒下や作業台の下など雨の当たらない場所を探すとすり鉢状のアリジゴクが見つかると思います。夏の夕方にトラスト地を散歩しながらウスバカゲロウの成虫も探してみて下さい。



アリジゴク



ウスバカゲロウの成虫

太田理事長が第34回(令和7年)「みどりの文化賞」 を受賞されました



令和7年5月10日(土)、イイノホール(東京都新宿区四谷)で開催された第34回森と花の祭典「みどりの感謝祭」式典におきまして、当協会太田猛彦理事長が「みどりの文化賞」を受賞され、名誉総裁秋篠宮佳子内親王の表彰状等が授与されました。東京大学名誉教授である太田理事長は長年にわたり教鞭をとられ、研究・教育活動にご尽力されました。また、日本学術会議会員、砂防学会・日本森林学会・日本緑化学会等の学術界の会長職、国の林政審議会委員等の行政の要職も歴任されており、現在もFSCジャパン代表等、精力的な活動を続けられています。

専門である治山・砂防学及び森林水文学をベースとした海岸防災林の再生や気候危機下の新たな土砂災害対策の方向性を示され、森林・林業問題について幅広い視野で、あるべき姿を考究し、持続可能な低炭素・自然共生社会の構築に向けて道筋を描き出し提言を続けられ、その実現に向けた普及活動が高く評価されました。受賞、おめでとうございます。

募集

ふるさと埼玉の美しい自然を次世代に引き継ぐため

ボランティア活動を始めませんか!?

—トラスト協会会員としてボランティア活動を始めるメリットは?—

① 活動に必要な知識や技能を学べます。

ボランティア活動を行うために必要な知識や技能を学べる研修や講習会等を開催しています。
各保全地のボランティアスタッフも親切に教えてくれます!

● 緑のボランティアセミナー

トラスト保全地や里山に関する講義、野外での自然観察実習、樹木伐採等の体験、活動時の安全管理方法等、活動していくために必要な知識及び技能が習得できます。
一緒に活動する仲間との交流も楽しめます!

● 保全活動技能取得研修

保全活動に必要な技能を習得できます。
①チェーンソー業務従事者講習(受講料協会負担)
②刈払い機取扱者講習(受講料協会負担)
※継続的な保全活動参加等の受講条件があります。

② 体験活動も受け入れています。(特に法人会員の皆様)

各トラスト保全地では、体験活動の受け入れも行っています。下記のトラスト事務局まで、お気軽に問い合わせください!



③ ボランティア保険の加入、必要な機器や資材等の負担も行います!

ボランティアスタッフ登録を行って活動いただく場合は、ボランティア保険への加入も行います。

また活動に必要な機器や資材等につきましては、協会が負担します。

④ ボランティア活動見学会実施中! 詳しくは協会ホームページをご確認ください。



さいたま緑のトラスト基金への大口寄附者 (10万円以上、令和7年3月から5月)

那須興産株式会社	株式会社 総合地質コンサルタント
有限会社 ヒーロー	公益社団法人 行田法人会
日高金属株式会社	一般社団法人 所沢法人会
株式会社 ユーディケー	さいたま農業協同組合
ベクトル株式会社	深井電気株式会社
一般社団法人 埼玉県獣友会	埼玉県地質調査業協会
埼玉県電気工業組合	株式会社 テレビ埼玉
公益社団法人 春日部法人会	株式会社 ジアスホールディングス
一般社団法人 埼玉県労働者福祉協議会	大熊泰雄 他匿名希望1個人



さいたま緑のトラスト協会への大口寄附者 (5万円以上、令和7年3月から5月)

全国大陶器市振興組合 他匿名希望1法人 [敬称略]

新しく会員になられた方々 (令和7年3月から5月)

【個人】2人 [敬称略]

【家族】5家族 (18人) [敬称略]

【法人】秋父土建株式会社 アートロックサービス

埼玉高速鉄道株式会社 [敬称略]

<会員数(5月末現在)> 1,383人・団体



公益財団法人 さいたま緑のトラスト協会

〒330-0063 さいたま市浦和区高砂3-12-9 埼玉県農林会館内
電話> 048(824)3661 ファックス> 048(832)0292
ホームページ> <http://www.saitama-greenerytrust.com>
メール> main@saitama-greenerytrust.com

当協会に寄附をお願いする方については、税額控除の特例を受けられます。
詳しくは伊又は税務署へお尋ねください。

トラスト運動に御支援いただきありがとうございます。

会費年額

個人	大人	1人	1,500円
	小・中・高校生	1人	1,000円
家族	永年(常勤)	1人	15,000円
	1家族	1家族	3,000円
法人		1口	10,000円

*会費はインターネットバンキングからの振込もできます

